

## 「われら瀬戸内探険隊」実施報告書

- 1 期 日 平成29年8月8日（火）～8月11日（金）
- 2 申込人数 50人  
※) 申込者多数のため、抽選を行った。
- 3 参加人数 37人（参加者決定後、3人のキャンセルがあった。）  
（内訳） 小学5年生 24人、小学6年生 11人、中学1年生 1人、  
          中学2年生 1人
- 4 支援スタッフ
  - ・ 渋川マリンス 14人（部分参加を含む。）
  - ・ 養護スタッフ 1人
- 5 主な活動内容
  - ・ 8月 8日（火）；開会行事、仲間づくりゲーム、砂浜レクリエーション、バーベキュー、班ミーティング
  - ・ 8月 9日（水）；朝の体操、ウォークラリー、ピザづくり、高州体験（からこと丸往復利用）  
                  ウミホテル観察、班ミーティング
  - ・ 8月10日（木）；班別活動（班ミーティング、海水浴、ビーチスポーツ、体育館レクリエーション、バナナボート）、ステンドグラス風写真かけづくり Part1、キャンプファイヤー
  - ・ 8月11日（金）；館内清掃、ステンドグラス風写真かけづくり Part2、閉会行事
- 6 成 果
  - ・ ウォークラリー、高州（大潮の低潮時に現れる浅瀬）での生物採取など海・山の自然を満喫できる活動を中心に実施した。特に、高州では普段見ることができないタツノオトシゴ等の生物に触れ、自然に対する関心を深めることができた。また、ステンドグラス風写真かけでは見たもの体験したことを絵にすることで、ものづくりの楽しさを味わうことができた。
  - ・ 参加者の班については、学校、学年が偏らないように編成した。その中で班別活動やキャンプファイヤー等の活動計画を自分たちで立てたり、しおりを見て自分たちで行動したりすることで、自分の考えを伝える大切さや周りの意見を聞くことの大切さ、声を掛け合って行動することの大切さを学ぶことができ、自主性や協調性を身に付けることにつながった。
- 7 今後の課題
  - ・ 例年のことだが、養護スタッフの確保が難しい。病院に看護師派遣依頼をするか岡山県教育委員会に養護教諭派遣依頼をするなど毎年派遣してもらえる環境を作っていかなければならない。
- 8 参加者の声（アンケートから原文のまま抜粋）
  - ・ めちゃくちゃ楽しくて、たくさんの友達ができ、初めての体験もできたからサイコーの思い出になりました。
  - ・ バナナボートが楽しかった。
  - ・ むっちゃ楽しかったから来年も来たい。

## 9 活動の様子



### ・砂浜レクリエーション

台風の影響で海が荒れていたため、企画していたゲーム内容を少し変更して行った。砂浜の上だけだったが、参加者は楽しんでいた。



### ・バーベキュー

班の仲間と火おこしから片付けまで協力して行った。おなかいっぱいお肉を食べ、満足そうであった。



### ・ウォークラリー

渋川青年の家からスタートし、途中のチェックポイントで職員が出す課題を班のみんなでクリアしながらおもちゃ王国を目指した。



### ・高州体験（からこと丸往復利用）

タツノオトシゴやカワハギの稚魚などたくさんの生物を観察した。中でも、タツノオトシゴは触れる機会がなかなかないため、自分の手に巻き付かせるなどして、しっかり触れ合えた。



### ・ピザづくり

生地をこね、生地を伸ばし、野菜を切ってトッピングした。野菜山盛りのピザは食べごたえもあり、自分で作ったピザということもあったため、きれいに全部食べ切った。



### ・班別活動

班ごとに活動内容を決め、ミーティングやビーチスポーツ、海水浴を楽しんだ。その中でも人気だったのがバナナボートだった。水上でのスピードを感じてスリルを楽しむことができた。

<今回の反省>

- 仲間づくりで名前を覚えられるようなゲームが組み込まれていなかったため、ミーティングまで呼び名が分からないまま活動した。担当に任せるが、内容まで指導課会で協議すべきだった。
- ウォークラリーで1つの班がおもちゃ王国までたどり着けず、全部のポイントを回れた班はいなかった。ポイント数や職員の出題内容をもう少し詰めておいてもよかった。
- 就寝時間は22:00の方がいいかもしれない。
- キャンプファイヤーの音響機器の不具合が多すぎた。新しく買うなど対策が必要だった。
- 手洗い場の排水溝のつまりが多かった。一旦ざるの上で水を流させるなど対策をした方が良い。  
(・今年から食事は全て食堂への依頼だったが、特に野外炊事の量など検討がつかず難しかった。)

